

平成30年度 指導計画・評価計画表 【2年生 理科】指導者名：本池雅子

観点：①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考 ③観察・実験の技能・表現 ④自然事象についての知識・理解

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむねB）	評価方法・場面	弱点克服
共通	①	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、学ぼうとする意欲が旺盛である。 ノートや観察プリント、実験プリントなどに意欲的に取り組み、提出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既知の事実や身近な事象と関連付け、これから学ぶ内容について、まとめたりして表現できる。 観察や実験を意欲的に行い、観察プリント・実験プリントにまとめ期限までに提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発言 提出物 レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出物の連絡
単元2 動物の生活と生物の進化 4月～7月	②	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の観察から、細胞の基礎的なつくりについて気づくことができる。 動物のからだのつくりと呼吸、消化などはたらきを関連づけて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物と植物の基本的な細胞のつくりを説明できる。 動物のからだのつくりと呼吸、消化などはたらきを関連づけて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 実験観察レポート 確認テスト 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 質問教室 未提出物の連絡 ノート指導
	③	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡を正しく操作して観察し、スケッチすることができる。 実験器具を正しく操作し、だ液の実験や反応時間を調べる実験などを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡を正しく操作し、細胞の特徴をスケッチすることができる。 細胞の特徴を説明できる。 実験結果を処理することができる。 		
	④	<ul style="list-style-type: none"> 細胞や器官の各部分の名称やつくり、はたらきについて理解し、知識を身につけている。 セキツイ動物や無セキツイ動物などの特徴を理解し、その知識を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 細胞や器官の各部分の名称やつくり、はたらきについて説明できる。 動物のつくりのちがいをから、分類することができる。 		
単元1 化学変化と原子・分子 7月～11月	②	<ul style="list-style-type: none"> 熱分解、電気分解、酸化、還元の実験結果から、反応前と反応後の物質の関係について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化前後の物質の関係について、実験結果をもとに自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 実験観察レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 質問教室 未提出物の連絡
	③	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具を正しく操作し、熱分解、電気分解、酸化、還元などの実験を行うことができる。 実験時の注意点を理解し、実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具を正しく操作し、熱分解、電気分解、酸化、還元などの実験を行うことができる。 実験時の注意点を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認テスト 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導
	④	<ul style="list-style-type: none"> 分解、酸化、還元などの化学変化について概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 化学変化を原子や分子のモデルで理解し、主 	<ul style="list-style-type: none"> 分解、酸化、還元などの化学変化について説明できる。 元素記号、化学式、化学反応式を正しく書く 		

		な化学変化を、化学反応式で説明できる。	ことができる。		
単元3 電流と その利用 11月～1月	2	<ul style="list-style-type: none"> 直列回路、並列回路の各部に流れる電流や電圧の規則性を見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直列回路、並列回路の各部の電流や電圧の規則性を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 実験観察レポート 確認テスト 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 質問教室 未提出物の連絡 ノート指導
	3	<ul style="list-style-type: none"> 電気用図記号を理解し、主な回路を、電気用図記号を用いて書くことができる。 電圧を電流の関係を調べる実験を行い、その結果を、グラフを用いて表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気用図記号を用いて回路図を書いたり、電気用図記号から正しく回路を作れる。 回路の各点に流れる電流や電圧を、電流計または電圧計を適切に操作して測定できる。 電圧と電流の関係をグラフに表せる。 		
	4	<ul style="list-style-type: none"> 電流、電圧、抵抗の関係を理解し、知識を身につけている。 直列回路、並列回路の各点の電流、電圧、抵抗についての規則性を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流、電圧、抵抗の関係について説明することができる。 電流、電圧、抵抗についての規則性を、直列回路、並列回路の各点について説明できる。 		
単元4 気象のしくみ と天気の変化 1月～3月	2	<ul style="list-style-type: none"> 観測結果から、天気、気温、湿度、気圧、風などの気象要素の関連を見だし、自らの考えを導いてまとめ、表現することができる。 雲や霧などの発生と気温、飽和水蒸気量、露点、温度などを相互に関連づけ、自らの考えを導いたりまとめ、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 天気、気温、湿度、気圧、風などの気象要素の関連について説明することができる。 雲や霧などの発生と気温、飽和水蒸気量、露点、温度などを相互に関連づけて説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 確認テスト 定期テスト 実験観察レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 質問教室 未提出物の連絡 ノート指導
	3	<ul style="list-style-type: none"> 観測を通して正しい観測器具の使い方や観測記録のとり方を身につけ、観測データを表やグラフなどに表すことができる。 実験器具を正しく操作し、露点を測定する実験や雲を発生させる実験などを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観測器具を正しく操作し、データを収集することができる。 実験器具を正しく操作し、それぞれの観察ができる。 観測データを適切に表やグラフにまとめ、表現することができる。 		
	4	<ul style="list-style-type: none"> 高気圧や低気圧、前線での風向・風力や気流の関係について理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高気圧、低気圧付近や前線の動きによる気温・湿度・気圧・風向・風力・天気の変化について 		

		<ul style="list-style-type: none">・天気図記号や等圧線などについて理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none">説明することができる。・各地の気象観測データをもとに、天気図用紙に記入することができる。		
--	--	---	---	--	--